



# NPO法人 ゆいネット北海道

会報 Vol.4

## 映画『月光』上映

2016年11月12日（土）午後札幌市男女共同参画センター主催、SACRACH共催で、映画「月光」の上映会が開催されました。

「月光」は、ピアノ教室を細々と営む女性カオリと、そのピアノ教室に通う小学生の女の子ユウが、それぞれの性被害に苦しみながらも、光を見つけるまでのストーリーです。大人の女性に対するレイプ、児童に対する性的虐待だけではなく、2人を取り巻く複雑な人間関係に巻き込まれて虐げられる子どもや、壊れていく家庭などを、リアルに描いていました。

第1部で映画の上映をした後、第2部として、「月光」の監督・脚本・編集をされている小澤雅人さんと、ゆいネット北海道の理事長で産婦人科医の堀本江美、同理事の弁護士須田布美子とトークショーを開きました。

小澤監督は、児童虐待をテーマにした前作「風切羽」の取材で、児童養護施設を訪れた際、あまりにも多くの性的虐待の被害児童がいたこと、職員らがそれを当然のことのように「セイギャク」と省略して語ることにショックを受け、本作のテーマを選んだそうです。

性犯罪者は、必ずしも見るからに悪者といった異常者ばかりではなく、普通に社会生活を送っている人がほとんどです。監督は、「男性には、自分たちや自分の周りの人たちが、いつだって加害者になりうることをきちんと自覚して欲しい。」とおっしゃっていました。

SACRACHには、日々カオリやユウが来ます。私たちは、カオリやユウが闇の中で希望の光を探す間、あるいは光をみつけて立ち上がったあとに、一緒に戦っていくための力になれるよう、今後も支援をしていきたいと思えます。

